

学校と地域をむすぶ

大津市立葛川小・中学校

# かけはし

地域コーディネーターだより

2016. 10. 20

NO. 4

## スマイルフェス 紅葉祭

10月1日、葛川小中学校の文化祭「紅葉祭」が行われました。今年のテーマは「スマイルフェス」。1学期から中学校の生徒会、小学校の児童会が中心となって、テーマをはじめ、「ふれあい」の内容を考えてきました。小中学生だけでなく、来てくださる地域の方々みんなが一日「笑顔」いっぱい楽しむことができるようにこのテーマが考えられました。

## ステージ発表

午前中は体育館でのステージ発表。

小学生の発表は音楽劇『AWFJ』アナとワナと双子の女王～紅葉祭だよ！全員集合！』でした。大ヒットを飛ばした「アナと雪の女王」の物語が元になっていますが、5・6年生が葛川バージョンとして台本を考えました。歌の練習も一学期から始めました。人数は少なくとも透き通るようなきれいな歌声が響きます。配役もみんなで相談して考えました。練習を重ねていくうちに、それぞれの役を自分なりに演じていきます。毎年思うことですが、配役は、なぜかみんなぴったりの適役なのです。アナ、ワナ、双子の女



王の高学年女子は、息がぴったりと合い、せりふも歌も踊りも一体化されていました。今年のスポットは、女王の戴冠式に招かれたゲストです。ここ数年「紅葉祭」で演じてきたミュージカルの登場人物（動物）が次々と出てきます。今まで



の思い出のミュージカルを取り入れたいという6年生の強い思いから発案されました。記憶に新しい「ピーターパン」のフック船長やワニ。昔なつかしい「11匹のねこ」のドラねこ大将や「孫悟空」などなど。ゲストが登場すると「あっ！あの劇や」と昔を思い出した方もたくさんおられたのではないでしょ

うか？特に、中学生や卒業生はあの頃を思い出したことでしょう。普通のミュージカルではなく、せりふに関西弁が入ったり、ずっこけるお笑いシーンがあったりするの、葛川ならではのもの。思い切り笑ってもらったり、手拍子が入ったり、「うおー！」「わあ〜」と感動の音が聞こえたりする中での本番は、緊張しながらも、すべてを出し切りとびきりの笑顔になった子どもたちでした。フィナーレのカーテンコールでポーズを決める子どもたちは満足感いっぱいでした。



中学生の発表は「スマイルクリエイターのマジックショー」。マジックを成功させるために、それぞれが練習を重ねてきました。ただマジックを披露するだけではなく、「マジックショー」を演じるために、構成やせりふ、BGMや照明などを考えたエンターテイメントを作り上げました。マジックも、トランプやスプーン曲げ、リングなど様々で



す。マジシャンのネーミングも BGM も自分たちで考え、それがまたぴったりでした。会場の人たちにも参加してもらったりしながら、みんながこのショーを楽しむことができました。テンポ良いマジックに思わず引き込まれて、最後には



て、最後には

「え〜?」「なんで〜?」「ほお〜!」と声を出してしまいました。なかなか全員で練習に取り組む時間が少なかった中、「みんなに楽しんでもらいたい」という思いを一つにしながら、作り上げられた「マジックショー」でした。



幕間には、昨年度に引き続き、細川の今宮さんがギターを片手にフォークソングを熱唱。会場の方々もなつかしいフォークソングに手拍子。1・2・3年生の有志の子どもたちも「ミッキーマウスマーチ」のピアノ連弾や合奏に参加。休み時間を使って練習してきました。先生方の合唱はおなじみの連ドラ主題歌「365日の紙飛行機」。少年少女合唱団もどきのハーモニーをお聞きいただけただしょうか?幕間では披露できませんでしたが、お昼の時間に中庭で町居の中田さんが大きなパネルに絵と文字をかくパフォーマンスを披露。葛川大好きという思いが絵と文字にこめられました。

## ふれあい

午後は「ふれあい」。中学生と小学校5・6年生が各コーナーの内容を考え準備をしてきました。今年の「ふれあい」は、4つ。

### もの探しゲーム

3秒間だけ写真を見せてもらいます。その写真に写っていたぬいぐるみを探します。柱のかげ、机の下、ついたての裏など、隠れたぬいぐるみを探し当てますが、果たしてそれがあの写真のぬいぐるみかどうか?

「あった〜」「これや〜」とぬいぐるみをかかえて受付にもどってチェックしてもらいます。「似てるけどちょっと目がちがうなあ。もう1回!」と再チャレンジの人。

「正解〜!」と景品をもらう人。探している時には、近くにいる人もいっしょに探してくれたり、「どんなぬいぐるみ?」と声をかけてくれる人も。まわりの人もいっしょに楽しみました。



### ぺっとクラフト

身近なペットボトルを使ったおもちゃ作りです。「けん玉」「空気砲」「フライトリング」の3種類のおもちゃを作ることができます。「どのおもちゃを作りますか?」



おもちゃを選んだら作り方の紙と材料・道具をもらいます。コーナー担当の人たちがやさしく、ていねいに教えてくれました。作りながらまわりの人たちと楽しくふれあう姿も見られました。作ったおもちゃでさっそく遊んでみます。それを見ていて、作りたくなった人もいたようです。大事にお持ち帰りしました。

## 的あてビンゴゲーム

ビンゴ型になったボードの的。ボールをあててボードを倒します。たて、横、ななめ、3つそろえば景品がもらえます。投げる球は5球。思い切り投げても的を破らなければなりません。けっこう同じ所に行く人も。ビンゴになるように的をねらいますが、思ったようにならないところがわくわく、どきどきです。見ている人も「がんばれ～」と声援をおくれます。



## おばけ屋敷

「一人で入ってください」と言われましたが、こわいので子どもにいっしょに入ってもらいました。真っ暗な中、突然後ろから肩をたたかれ「ギャー!」。何やら不気味な声と音。どこから何が出てくるかわからないのがおばけ屋敷ですが、とにかく出口をめざします。二つ目の部屋に入った時には、いっしょに入ってくれた子どもはもう先に行ってしまっています。わめきながらもすぐ出口という所でおそいかかられ、そのままはいつくばって外に出ると、「さだこやあ～」と言われました。髪の毛も振り乱して叫びながら出た姿はおばけ以上におそろしかったかもしれません。どんなおばけかしっかり顔を見ることもなく、とにかくこわかったあ。写真をお見せすることができませんが、想像してみてください。

「ふれあい」の時間はあっという間に過ぎてしまいましたが、とても楽しいひとときでした。この日のために休み時間や放課後も準備にあてました。「たくさんの人に楽しんでもらいたい。」という思いは実現しました。参加する人、遊びを提供する人、そしてまわりの人たちが笑顔いっぱいの姿は、まさに「スマイルフェス」でした。

# エンディング

エンディングは二部構成。まずは、中学生の「イントロクイズ」。中学生の息の合ったのりのりの雰囲気会場も盛り上がります。そして今年の紅葉祭をしめくくるのは、小中学生と先生たちの合奏「SUN」です。小学校3年生以上が練習に取り組んできました。みんなで音を合わせたのはわずか4回でしたが、それぞれが自分のパートを練習して合奏にいたしました。難しいところもたくさんありましたが、みんなで音を合わせると、すばらしいハーモニーが生まれました。一人で演奏するよりずっと楽しくなりました。



今年は、音楽劇団「てんでこ」に来ていただき、午前の部の最後を手作り楽器によるパフォーマンスや演奏を鑑賞しました。布をはったバケツ、ホース、水の入ったびん、フライパンなど、身近な道具が楽器に早変わり。さっそく作って鳴らしてみたくなる物がいっぱいありました。手作り楽器の演奏に合わせて手拍子をしたり歌ったりしながら、楽しむことができました。

体育館の後ろに展示コーナー。子どもたちの絵や立体、書写の作品などの他、地域の方々や先生方の手芸や絵画、写真などの力作がずらりと並び、多くの方々に見ていただくことができました。その中に、中学生の生徒会が中心となり作成した「葛川・久多のパンフレット」がありました。昨年度の「KT ふれあいの輪」の懇話会で話し合われたことをもとに、私たちの住む地域を多くの人に知ってもらうためにできることを考え、このパンフレット作りが始まりました。このパンフレットを見た





人たちが興味を持って葛川や久多を訪れてくれることが期待されます。

朝早くからお越しいただいた地域のみなさま、幕間に参加していただいた方々、力作を出品していただいた方々、ありがとうございました。ステージ発表、作品・芸術鑑賞、ふれあいなど、

一日を通して、たくさんの方々とふれあい楽しむことができました。「スマイルフェス」。笑顔に笑い声がいっぱいでした。

## 大きなまるいおいもがとれたよ

5月に寿会の方々に教えていただいて植えたさつまいもの苗。葉がおおいしげり収穫の時を今か今かと待っていたようです。去年作っていただいた丈夫な柵と網のおかげで、今年も動物に畑を荒らされることなく、畑の作物は

次々と収穫す

ることができました。夏に1か所網がめくられているのを発見。一番はしっこのおいもが掘られていましたが、それだけにとどまったようで、早く気付いて直してもらったので畑は無事でした。



「ほら、ここに赤いの見えてるで」と教えていただきます。軍手をはめた手で、移植ごてで、おいもを傷つけないようにまわりから土をのけていきます。赤い姿発見！どンドン土を掘っていくと「出てきました！」色鮮やかな赤いおいも。丸くて大きいです。瓢箪のようなおいもや恐竜みたいなおいももありました。



2つも3つもぶら下がって出てきたおいもも。「もう、ないかなあ」と最後まで土の中をさがしました。掘ったおいもを運んでシートに並べていきました。数えてみると何と、114個！今年もたくさんのおいもがとれました。

「おいものつるはどうやって食べるのですか？」子どもたちは質問しました。

「皮をむいたらいいいやねえ。でも、そのままでも食べれるよ」「油でいためてもいいし、たいてもいいよ」と教えていただきおいものつるを食べるのも楽しみになりました。しかし、一番楽しみなのは、とれたおいもで焼き芋をすること。

「焼き芋をするので、いっしょに手伝ってください」とお誘いしました。11月の14日に焼き芋をします。いつもお世話になっている寿会のみなさん、たくさん来てください。ほくほくの焼き芋が食べられるのが楽しみです。

